

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書 ✓
(自 令和 2 年 5 月 1 日 至 令和 3 年 4 月 30 日) ✓

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 裕嵩会 波多野医院 ✓

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 山口県萩市大字堀内 247 番地 5

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 年 月 日

(4) 設立登記年月日 平成 1 年 7 月 1 1 日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	波多野医院	山口県萩市大字堀内 247 番地 5	一般病床 0 床

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
デイサービス 波多野医院 タンポポ	山口県萩市大字堀内 247 番地 5	

(3) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 2 年 4 月 27 日 令和 1 年度の事業計画及び収支予算の決定

令和 3 年 6 月 28 日 令和 2 年度決算の決定

様式 2

法人名 医療法人社団 裕嵩会 波多野医院

※医療法人整理番号

所在地 山口県萩市大字堀内247番地5

財 產 目 録

(令和3年4月30日現在)

1. 資 産 額 94,020 千円 ✓

2. 負債額 37,586 千円 ✓

3. 純 資 産 額 56,434 千円 ✓

(内 訳)

(單位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	63,842
B 固 定 資 産	30,178
C 資 産 合 計 (A + B)	94,020
D 負 債 合 計	37,586
E 純 資 産 (C - D)	56,434

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土地 (☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建物 (☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人社団 裕富会 波多野医院 ✓

※医療法人整理番号

所在地 山口県萩市大字堀内247番地5

貸 借 対 照 表 ✓

(令和3年4月30日現在) ✓

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	✓ 63,842	I 流 動 負 債	- 21,951
II 固 定 資 産	✓ 30,178	II 固 定 負 債	- 15,635
1 有 形 固 定 資 産	- 29,856	(うち医療機関債)	()
2 無 形 固 定 資 産	- 309	負 債 合 計	✓ 37,586
3 そ の 他 の 資 産	- 13	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	()	科 目	金 額
		I 出 資 金	- 6,241
		II 資 本 剰 余 金	
		III 利 益 剰 余 金	- 50,193
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	✓ 56,434
資 産 合 計	✓ 94,020	負 債 ・ 純 資 産 合 計	✓ 94,020

様式4-2

法人名	医療法人社団 裕嵩会 波多野医院	※医療法人整理番号				
所在地	山口県萩市大字堀内247番地5					

損 益 計 算 書

(自 令和2年5月1日 至 令和3年4月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	62,173
2 事業費用	82,429
本来業務事業損失	20,256
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	70,340
2 事業費用	55,430
附帯業務事業利益	14,910
事業損失	5,346
II 事業外収益	10,644
III 事業外費用	478
経常利益	4,820
IV 特別利益	302
V 特別損失	
税引前当期純利益	5,122
法人税等	1,107
当期純利益	4,015

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
 2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。